

人，研究，家族に感謝！

日本大学工学部の須川と申します。この記事の執筆にあたり、何を書きたいか自分に問いかけたところ、「謝意」に終始することにしました。お付き合いください。

私は学部・修士時代は上智大学にて清水都夫先生、遠藤明先生のご指導の下、金属錯体分子の電気化学研究に従事し、博士課程では九州大学にて山田淳先生のご指導の下、金属ナノ粒子のプラズモン共鳴を利用した光電気化学素子の開発研究に従事させて頂きました。縁あって現所属に着任して以降も、ナノ物質の光特性の魅力に取り憑かれ中で、細々と研究を行わせて頂いております。・・・